

第 42 回

神奈川県母子剣道大会
神奈川県東西対抗剣道大会

1. 母子剣道大会の趣旨

本大会は、日頃地域で剣道に取り組んでいる母親と子供と一緒に出場する大会です。母と子供（小学生、中学生）が1チームで試合を行い優勝を目指して、お互いの技を競い、その向上につとめて剣道の普及、発展を図るものです。

2. 東西対抗剣道大会の趣旨

本大会は、神奈川県内の剣道高段者が東軍、西軍に分かれて試合を行います。選手は各支部推薦者の中から、段位毎の人数など考慮の上、選考し決定します。選手相互が技を競い、その向上につとめて剣道の普及、発展を図る大会です。

3. 期日 平成29年10月9日(月祝)

(1) 母子剣道大会 受付 午前9時～

開会式：9時30分 閉会式：試合終了後

(2) 東西対抗剣道大会 受付 12時30分受付

開会式：午後1時 閉会式：試合終了後

4. 主催 神奈川県剣道連盟

5. 会場 神奈川県立武道館

6. 演武・試合

(1) 日本剣道形

(2) 母子剣道大会

小学生低学年の部 (1. 2. 3年生)

小学生高学年の部 (4. 5. 6年生)

中学生の部

(3) 東西対抗試合

7. 母子剣道大会の実施方法

(1) 母子1組2名の対抗試合とし、トーナメント方式による。

(2) 対戦順は子対子を先に行い、母対母を後に行う。

(3) 子供は、小・中学生とし、性別、段級位の制限はない。

ただし、母は小学生低、小学生高、中学生のいずれかとする。

(4) 試合時間は、母子、共に2分とし、時間内に勝負が決しない時は、引き分けとする。同点、同本数の場合は、代表者戦を行う。

代表者戦は、抽選により子対子か母対母とし、一本勝負で勝敗が決するまで行う。

8. 東西対抗剣道大会の実施方法

(1) 対抗試合とする。

(2) 試合は3本勝負、試合時間は3分、試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

ただし、東西の勝敗が決しない場合は、あらためて大将同士で代表者戦を行う。

(代表者戦は1本勝負で、時間を区切らず勝敗が決するまで行う)

(3) 東西の区分

東軍	<市・郡>	川崎、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、相模原、大和、座間、 海老名、綾瀬
	<横浜>	鶴見、神奈川、西、中、南、磯子、金沢、港北、港南
西軍	<市・郡>	横須賀、平塚、中郡、小田原、南足柄、厚木、秦野 伊勢原、津久井
	<横浜>	保土ヶ谷、旭、戸塚、泉、栄、瀬谷、緑、青葉、都筑

上記の区分は前回大会のものです。選手の申込状況によって一部変更することがありますので、ご了承ください。

(4) チーム編成

- ① 監督1名、選手は以下の区分けで36名、計37名とする。
- ② 女子選手は五段3名・六段2名・七段1名の計6名。
- ③ 男子選手は五段10名、六段10名、七段10名、計30名。
- ④ 5・6・7段の各段毎に警察官一名を入れる。
(警察官は住所で東西に分ける)
- ⑤ 出場順位は、女子・下段者、次が年齢順とする。
- ⑥ 補員は設けない。
- ⑦ 選手候補を各支部より必ず1名以上推薦するようお願いします。

(5) 監督、選手の選考方法

- ① 選考委員会は神奈川県剣道連盟にて行います。
(選手の出場については必ず本人の承諾を得ること)

(6) 出場資格

- ① 神奈川県剣道連盟の会員であり、指定の段位を有する者。

9. 会場係員

- (1) 係員は横浜市内の支部から各1名、計18名お願いします。
(チーム不参加の場合でも必ず1名を派遣してください。)

10. 申込期日(母子剣道大会及び東西対抗剣道大会共)

【鎌倉剣道連盟】平成29年8月20日(日) 事務局 元島迄

申込書は各支部一括にてFAX又は郵送及びメール等で送付して下さい。
参加希望者が無い場合は「なし」と記入し送付をお願いします。